

令和7年度実施

●河川における機能の確保

- ・河川整備計画などに基づく治水対策の着実な実施
緊急自然災害防止対策事業
大賀茂川水系（二）大賀茂川（河川改良）L=78m



●避難行動を促す取組

- ・出前講座等を活用した住民向けの防災情報の説明会
土砂災害に関する出前講座を合計10回開催
(小学生：9回、中学校1回)



【賀茂小学校】



【西伊豆中学校】

令和8年度予定

●河川における機能の確保

- ・河川整備計画などに基づく治水対策の着実な実施
国土強靱化総合流域防災事業
青野川水系（二）二条川（河川改良）L = 40m



施工予定箇所



下流の整備済箇所

●避難行動を促す取組

- ・出前講座等を活用した住民向けの防災情報の説明会

	開催回数	延べ人数	備考
令和8年度	6回(予定)	184名(予定)	小学校1、地区訓練5(予定)
令和7年度	10回	266名	小学校9 中学校1
令和6年度	6回	164名	小学校6

令和7年度・令和8年度の主な取組（静岡県河川砂防局）



令和7年度実施

○水害リスク情報等の共有に向けた取組

○洪水浸水想定区域の指定

・水防法に基づき、令和8年3月31日までに下田土木事務所管内の指定対象河川（37河川）すべてで洪水浸水想定区域を指定した。

○高潮浸水想定区域の指定

・水防法に基づき、下田土木事務所管内の沿岸の高潮浸水想定区域を令和7年10月31日に指定した。

○避難行動を促す取組

○出前講座などを活用した住民向けの防災情報の 説明会・訓練の充実

・「土砂災害・全国防災訓練」の一環で避難訓練や防災情報に関する出前講座や意見交換会を県内各地で実施した。また、市町及び教育委員会と連携し、土砂災害に関する警戒避難体制の強化を図った。
(令和7年度: 西伊豆町、東伊豆町、河津町で避難訓練やワークショップを開催)



西伊豆町でのワークショップの様子
(令和7年6月1日)



東伊豆町での避難訓練の様子
(令和7年6月1日)

令和8年度予定

○水害リスク情報等の共有に向けた取組

○洪水・高潮浸水想定区域の指定に伴う区町への支援

・区域指定により必要となる市町のハザードマップ作成、周知を支援する。

○避難行動を促す取組

○出前講座や防災教育の強化

・水災害に関する防災教育の推進を図るため、「しぞ〜か防災かるた『豪雨の備え編』」を活用した出前講座やかるたの貸出を引続き実施する。
・県庁見学会等を活用し、水害リスクや防災情報（新しい防災気象情報に関する内容を含む）について説明を行い周知啓発を図る。

○情報伝達の強化、避難計画計画等の策定

○迅速かつ的確な避難行動のための取組

・出水期前に水防警報等の情報を迅速かつ的確な伝達体制に万全を期すことを目的に、県管理河川を対象にした洪水対応演習を県内各土木事務所及び関係市町と連携して継続的に実施する。（令和8年度は6月5日に実施）



令和7年度・令和8年度の主な取組（下田市）



令和7年度実施

○住民の防災意識向上のための取組

- 講師を招いて防災講演会を実施
- 広報誌を活用した防災意識の啓発
- 市民向けメール配信サービスの登録促進
- 土砂災害・洪水ハザードマップの周知

○逃げ遅れゼロのための取組

- 要配慮者個別避難計画の作成を推進
- 市公式LINEアカウントを利用した防災情報の発信

○社会経済被害の最小化のための取組

- 水防訓練の継続実施
- 各種土嚢工法の訓練を継続実施することで消防団の技術と意識の向上を図る
- 作成した土嚢を水防活動で使えるよう詰所に保管
- 出水期前の土嚢作成
- 土砂災害（洪水想定を含む。）防災訓練の継続実施
- 自主防災組織を対象とする訓練を継続実施することで、組織の強化を図る
- 災害時協力井戸の整備



令和8年度予定

○住民の防災意識向上のための取組

- 講師を招いて防災講演会の実施
- 広報誌を活用した防災意識の啓発
- 市民向けメール配信サービスの登録促進
- 土砂災害・洪水ハザードマップの周知
- 災害対策用品等の購入に対し、補助金を交付

○逃げ遅れゼロのための取組

- 要配慮者個別避難計画の作成を推進
- 市公式LINEアカウントを利用した防災情報の発信



○社会経済被害の最小化のための取組

- 令和7年度の取組を継続
- 下田市役所に新庁舎が完成。災害対策本部室も完成し、大規模な災害時にも迅速な対応が可能となった。災害に備え、組織の強化を図る
- 購入した災害時トイレカーの周知や展示を行い、災害時に迅速な使用ができるようにする。



令和7年度・令和8年度の主な取組（東伊豆町）



令和7年度実施

○住民の防災意識向上のための取組

●土砂災害防災訓練の実施(6/1)

- ・避難訓練の実施、危険箇所の確認(図上を含む)
- ・土砂災害出前講座の実施(入谷区自主防災会)
- ・各地区防災倉庫の点検



○逃げ遅れゼロのための取組

- 防災行政無線やメール、LINE等多様な手段での避難誘導、情報伝達
- 洪水ハザードマップの作成・配付

○社会経済被害の最小化のための取組

●水防訓練の実施(6/29)

- ・土のう準備、積み土のう工法の実施



令和8年度予定

○住民の防災意識向上のための取組

●土砂災害防災訓練の実施(6/7)

- ・避難訓練の実施、危険箇所の確認(図上を含む)
- ・土砂災害出前講座の実施(白田区自主防災会)
- ・各地区防災倉庫の点検



○逃げ遅れゼロのための取組

- 防災行政無線やメール、LINE等多様な手段での避難誘導、情報伝達

○社会経済被害の最小化のための取組

●水防訓練の実施(5/31 実施)

- ・土のう作成、積み土のう工法の実施 等



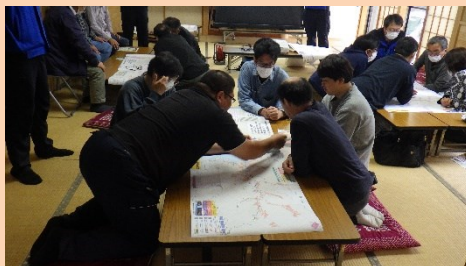
令和7年度・令和8年度の主な取組（河津町）



令和7年度実施

○住民の防災意識向上のための取組

- 「わたしの避難計画」作成支援
- 出前講座の実施（6/1） 20名参加
- 防災ガイドブック（ハザードマップ）を活用した防災訓練実施の働きかけ
- 洪水浸水想定区域追加（谷津川・大鍋川）によるハザードマップ新規作成



○逃げ遅れゼロのための取組

- 大雨警報等発表時、要配慮者施設への電話連絡

○社会経済被害の最小化のための取組

- 水防訓練の実施（7/26）
 - ・河津町消防団員48名参加
 - ・自衛隊員を講師に土のう作成、積み方講習会の実施



令和8年度予定

○住民の防災意識向上のための取組

- 「わたしの避難計画」作成支援継続
- 防災ガイドブック（ハザードマップ）を活用した防災訓練実施の働きかけ継続
- 出前講座等外部講師による講座・防災訓練の実施継続

○逃げ遅れゼロのための取組

- 大雨警報等発表時、要配慮者施設への電話連絡
- 事前避難への取組
 - ・同報無線や防災メール、SNSによる事前避難を促す広報の実施
- デジタル防災行政無線整備

○社会経済被害の最小化のための取組

- 水防訓練の継続実施
 - ・消防団の水防訓練を継続実施することで技術と意識の向上を図る
- 避難路の整備
- 防災拠点施設の整備

令和7年度・令和8年度の主な取組（南伊豆町）



令和7年度実施

○住民の防災意識向上のための取組

- 土砂災害防災訓練
 - ・南上地区を対象に地域別訓練を実施
- 防災室職員による出前講座
 - ・災害ボランティアコーディネートの会、老人クラブ連合会、南中小学校から依頼があり、災害への備えとして防災講座を実施



○逃げ遅れゼロのための取組

- わたしの避難計画の継続広報
 - ・防災訓練や出前講座にて作成の実施
 - ・町のホームページや広報誌での普及活動
- 防災情報の周知
 - ・警戒レベルの意味、町民メールの登録案内、避難する際の心得、土砂災害の情報を広報誌に掲載

○社会経済被害の最小化のための取組

- 水防訓練の実施
 - ・消防団による土のうづくり等を実施



令和8年度予定

○住民の防災意識向上のための取組

- 土砂災害防災訓練
 - ・三浜地区を対象に避難所を活用した地域別訓練を実施
- 防災課職員による出前講座
 - ・各地区、小中学校を対象とした防災講座を実施

○逃げ遅れゼロのための取組

- 要配慮者への支援
 - ・地域防災計画の見直しに伴う、要配慮者利用施設避難確保計画作成・避難訓練実施の促進
- わたしの避難計画の継続広報
 - ・町のホームページや広報誌での普及活動
- 防災情報の周知
 - ・土砂災害の情報、避難についての確認事項、防災行政無線の内容確認、戸別受信機の案内を広報誌に掲載

○社会経済被害の最小化のための取組

- 水防訓練の実施
 - ・消防団による土のうづくり等を実施

令和7年度・令和8年度の主な取組（松崎町）



令和7年度実施

○住民の防災意識向上のための取組

- 金沢地区を町内モデル地区として地域別訓練を実施
- 自主防災会長及び防災委員を対象とした防災講演会の実施



- 夏祭りにおいてパネル等を展示し、防災啓発を実施

○逃げ遅れゼロのための取組

- 要配慮者利用施設と通信訓練を実施
- 土砂災害の情報、避難情報、静岡県総合防災アプリなどを周知

○社会経済被害の最小化のための取組

- 6月に陸上自衛隊から指導者を招き、岩地海岸において消防団の土のうを使用した水防訓練の実施
- 6月に西伊豆消防署職員を講師として消防団の救命講習会の実施



令和8年度予定

○住民の防災意識向上のための取組

- 土砂災害防災訓練
桜田地区を町内モデル地区として地域別訓練を実施
- 防災講演会
自主防災会長及び防災委員を対象とした防災講演会の実施
- サテライト地震防災センター出張展示
イベント開催時に、パネル等を展示し、防災啓発を実施

○逃げ遅れゼロのための取組

- 要配慮者への支援
要配慮者利用施設との訓練の実施
- 「わたしの避難計画」の普及
町内各地区において、普及活動の実施
- 防災情報の周知
土砂災害の情報、避難情報、静岡県総合防災アプリなどの周知の実施

○社会経済被害の最小化のための取組

- 消防団の水防訓練
土のうを使った積み土のう工法等の水防訓練の実施
- 消防団の救命講習会
心肺蘇生法や応急法などの救命講習会の実施

令和7年度・令和8年度の主な取組（西伊豆町）



令和7年度実施

○住民の防災意識向上のための取組

- 自主防災会議及び防災委員研修の開催
- 土砂災害訓練の実施
- 災害時ケースマネジメント研修
全2回 延べ29人
- 防災まめ知識セミナー全4回 延べ51人



○逃げ遅れゼロのための取組

- 避難支援
全戸配布した防災ハザードマップの使い方や見方を情報提供
- わたしの避難計画普及員の養成
各自主防災会防災委員を対象に、わたしの避難計画普及員養成講座を開催
- 災害時要支援者等避難対応研修会
実行委員会6回、研修会参加者45名
- 避難行動要支援者名簿作成
避難行動要支援者名簿を作成し関係者に配布
- 避難行動要配慮者への支援
避難行動要支援者支援計画を活用した避難訓練の実施



○社会経済被害の最小化のための取組

- 水防訓練の実施
自衛隊の指導による消防団員の
積み土のう工法等の訓練を実施



令和8年度予定

○住民の防災意識向上のための取組

- 自主防災会議及び防災委員研修の開催
- 土砂災害訓練の実施
- 災害対応研修会（防災教育）
要配慮者支援及び被災者生活再建に向けた研修等の実施
- 出前講座の実施
各地区に対し出前講座を実施し、住民の防災に関する知識を共有するとともに防災意識を高揚させる

○逃げ遅れゼロのための取組

- 避難支援
防災気象情報の変更を踏まえた避難について情報提供
- わたしの避難計画普及員の養成
各自主防災会防災委員のうち、わたしの避難計画普及員研修が未修の方に対する追加研修
- 避難行動要支援者名簿が最新の状態で情報共有されるよう更新
- 避難行動要配慮者への支援
 - ・自主避難所の早期開設を継続し、早めの避難を習慣づけ
 - ・避難行動要支援者支援計画を活用した避難誘導の検証

○社会経済被害の最小化のための取組

- 水防訓練の実施
消防団員に対する、自衛隊の指導による水防訓練を実施予定

令和7年度・令和8年度の主な取組（静岡県危機管理部）



令和7年度実施

○迅速かつ的確な避難行動のための取組

(1)「わたしの避難計画」の普及

- ・東伊豆町の住民や西伊豆中学校の生徒（全学年）に対し、「わたしの避難計画」作成講座を実施。
- ・「わたしの避難計画」の作成をサポートする「わたひな普及員」を養成する講座を地域の自主防災役員に実施。（西伊豆町）
- ・（株）建設システムと「地域防災力の向上に向けた連携・協力に関する協定」を締結し、「クロスゼロforファミリー」に「わたしの避難計画」作成機能を追加。



わたひな作成講座（西伊豆中学校）
（令和7年9月1日）



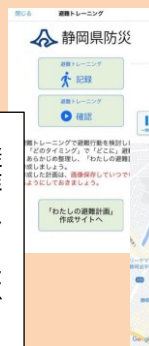
クロスゼロforファミリー チラシ

(2) 防災アプリ「静岡県防災」の利便性向上

住民や学校、自治体職員向けに、防災アプリの利用方法の周知、防災に関するお知らせの配信、避難トレーニング機能を活用した避難訓練の周知啓発を実施。気象庁の警報体系に対応する改修を実施。



防災アプリ「静岡県防災」



避難トレーニング



避難コンパス



令和8年度予定

○迅速かつ的確な避難行動のための取組

(1)「わたしの避難計画」の普及

- ・市町、民間企業、大学生等と連携して作成を促進し、引き続き普及を図っていく。
- ・普及が円滑に進むよう地域での普及人材の育成を図るとともに、防災訓練での活用を呼びかけていく。

(2) 防災アプリ「静岡県防災」の利便性向上

事業者と連携して、住民や学校、自治体職員向けに、防災アプリの利用方法の周知、防災に関するお知らせの配信、避難トレーニング機能を活用した避難訓練の周知啓発等を実施していく。

○迅速な水防活動・排水活動の取組

(1) 風水害合同対処訓練の実施

- ・各地域局や市町と連携した風水害合同対処訓練を実施し、関係機関との連絡調整、迅速かつ的確な情報伝達等について訓練を実施していく。必要に応じて、避難情報の発令の体制見直し等を支援していく。



令和6年度の訓練の様子（令和7年度は中止）

令和7年度・令和8年度の主な取組（静岡県総務部賀茂地域局）



令和7年度実施

○ 確実な避難指示の発令に向けた取組

1. 県職員向け風水害対処研修の実施（令和7年7月2日）

事前配備職員による情報連絡体制、情報整理及び配備内容の移行状況等を確認することを目的とし、「状況付与型の図上訓練形式」で研修を実施。

【参加人数】 15人

【参加機関】

事前配備対象職員（下田財務事務所、賀茂地域局）、下田土木事務所、東伊豆町、河津町、賀茂地域局



2. 市町職員向け気象防災ワークショップの実施（令和7年6月11日）

大雨による土砂災害や洪水災害が懸念される事から住民の逃げ遅れによる人的被害を無くす事を目的に、「土砂災害」を題材とした気象防災ワークショップを災害対応業務等に従事する市町職員向けに実施。

【参加人数】 23人

【参加機関】

管内6市町、静岡地方気象台
賀茂地域局、下田土木事務所



○ 避難行動を促す取組

1. 防災教育の推進

賀茂管内の教育機関等へ出向き風水害や土砂災害を含む防災講座等を実施。

【実施校数（実施率）】

実施学校数：42校/管内学校数：43校（98%）

【機関別実施校数】

高等学校：3校

中学校：8校

小学校：16校

幼保等：13校

特別支援学校：2校



令和8年度予定

○ 確実な避難指示の発令に向けた取組

1. 県職員向け職員風水害対処研修の実施

事前配備職員（下田財務事務所、賀茂地域局）を対象に、風水害に対する防災対処能力の更なるスキルアップを目指し研修会を引き続き実施する。

2. 市町職員向け風水害対処研修の実施

気象台から発表される各種防災気象情報に基づき、適切なタイミングでの防災体制の強化や避難に関する判断ポイントを市町職員が学ぶ気象防災ワークショップを引き続き実施する。

○ 避難行動を促す取組

1. 防災教育の推進

賀茂管内の教育機関等を対象に引き続き関係機関と連携し、風水害や土砂災害の啓発等に関する防災講座を実施する。

2. 防災啓発の推進

サテライト地震防災センターによる防災啓発活動や、地元CATVにおいて土砂災害啓発と避難に関する啓発内容を放送する。

令和7年度・令和8年度の主な取組（静岡県健康福祉部）



令和7年度実施

○逃げ遅れゼロのための取組

●社会福祉法人等の指導監査等

- ・社会福祉法等に基づく指導監査等において、防災管理体制や防災訓練の実施状況を確認、指導
- ・洪水浸水想定区域内、土砂災害警戒区域内に立地する社会福祉施設等が行う避難確保計画の策定及び避難訓練の実施を指導

●高齢者福祉施設等における災害対策の推進

- ・「高齢者福祉施設における災害対応マニュアル」の提供
- ・県が開催する「市町介護保険事業者指導担当者研修会」等で、施設における非常災害対策について啓発

●社会福祉施設等職員防災研修会

- ・施設職員の防災意識の向上や知識の習得を図り、施設の防災対策力を高めることを目的とし、施設職員向けの研修を実施

【研修内容】

要配慮者利用施設の避難訓練についての説明、地震防災アドバイザーによる講演等

●避難行動要支援者の避難支援等に係る意見交換会、説明会

- ・県の関係部局（危機管理部、交通基盤部、くらし・環境部）が連携して市町職員向け災害救助法等担当者会議を開催
- ・市町の防災、福祉担当職員を対象に要配慮者支援等に係る意見交換会を開催



令和8年度予定

○逃げ遅れゼロのための取組

●社会福祉法人等の指導監査等

- ・社会福祉法等に基づく指導監査等において、防災管理体制や防災訓練の実施状況を確認、指導
- ・洪水浸水想定区域内、土砂災害警戒区域内に立地する社会福祉施設等が行う避難確保計画の策定及び避難訓練の実施を指導

●高齢者福祉施設等における災害対策の推進

- ・「高齢者福祉施設における災害対応マニュアル」の提供
- ・県が開催する「市町介護保険事業者指導担当者研修会」等で、施設における非常災害対策について啓発

●社会福祉施設等職員防災研修会

- ・施設職員の防災意識の向上や知識の習得を図り、施設の防災対策力を高めることを目的とし、施設職員向けの研修を実施

【研修内容】

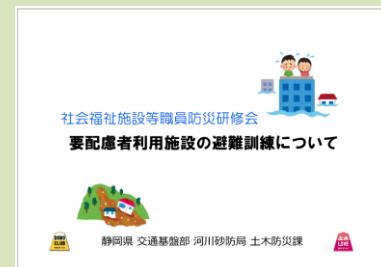
要配慮者利用施設の避難訓練についての説明、地震防災アドバイザーによる講演等

●避難行動要支援者の避難支援等に係る意見交換会、説明会

- ・県の関係部局（危機管理部、交通基盤部、くらし・環境部）が連携して市町職員向け災害救助法等担当者会議を開催
- ・市町の防災、福祉担当職員を対象に要配慮者支援等に係る意見交換会を開催



要配慮者の命を守る「個別避難計画」



社会福祉施設等職員防災研修会

令和7年度・令和8年度の主な取組（静岡地方気象台）



令和7年度実施

令和8年度予定

○地域住民の防災意識向上のための取組

- 引き続き、静岡県内の自治体等にワークショップや出前講座等の講演を通して、防災意識向上のための普及・啓発を行った。

○迅速かつ的確な避難行動のための取組

- 引き続き、静岡県内の自治体等に、キキクル等の防災気象情報の利活用方法を周知広報した。

○気象防災情報の体系整理に伴う取組

- 令和8年出水期以降の防災気象情報の体系整理による情報改善に向けて、新情報への円滑な移行ができるよう静岡県内の自治体等に説明を行った。
なお、新しい防災気象情報では、以下の変更・改善により、受け手側の立場に立った情報となる予定。
 - 5段階の警戒レベルにあわせて、情報体系及び名称を整理
 - 警戒レベル4に相当する「レベル4〇〇危険警報」の新設

○迅速かつ的確な避難行動のための取組

- 令和8年5月29日から、防災気象情報を5段階の警戒レベルにあわせ情報体系及び名称を整理し、大幅に変更・改善する。
- 風水害に対応する自治体の防災担当者の知識習得のため、新たな防災気象情報の読み解き方や利活用方法を習得するため、出前講座や気象防災ワークショップを実施する。

○地域住民の防災意識向上のための取組

- 防災気象情報の変更・改善に伴い、改善後の防災気象情報について分かりやすい解説動画やリーフレット等の広報資料を用い、自治体等の関係機関や住民等への周知啓発を強化する。
- 学校防災の支援として、小・中学校の児童・生徒を対象として気象庁ワークショップや出前講座を実施する。これにより、気象情報の意味、入手方法、利活用方法及びハザードマップの見方などを学んでもらうことで、大雨による災害から命を守るための防災教育を行う。

現行

発表単位	河川氾濫等に関する情報		大雨に関する情報		土砂災害に関する情報	高潮に関する情報
	洪水予報河川、水位周知河川の洪水氾濫	洪水予報河川、水位周知河川の洪水氾濫	内水氾濫	内水氾濫	沿岸ごと又は市町村ごと	沿岸ごと又は市町村ごと
5相当	氾濫発生情報	—	大雨特別警報	大雨特別警報	高潮氾濫発生情報	高潮氾濫発生情報
＜警戒レベル4までに必ず避難＞						
4相当	氾濫危険情報	—	—	土砂災害警戒情報	高潮特別警報、高潮警報	高潮特別警報、高潮警報
3相当	氾濫警戒情報	洪水警報	大雨警報（大雨警報） 大雨注意情報	大雨警報（土砂災害）	警戒に切り替える可能性が高い 高潮注意情報	警戒に切り替える可能性が高い 高潮注意情報
2	氾濫注意情報	洪水注意情報	※警戒レベル4相当の情報として位置づけ	大雨注意情報	高潮注意情報	高潮注意情報

改善後
令和8年出水期から

発表単位	河川氾濫に関する情報		大雨に関する情報		土砂災害に関する情報	高潮に関する情報
	洪水予報河川の洪水氾濫	洪水予報河川の洪水氾濫	内水氾濫及び洪水予報河川以外の洪水氾濫	内水氾濫及び洪水予報河川以外の洪水氾濫	沿岸ごと又は市町村ごと	沿岸ごと又は市町村ごと
5相当	レベル5氾濫特別警報	レベル5氾濫特別警報	レベル5大雨特別警報	レベル5大雨特別警報	レベル5土砂災害特別警報	レベル5高潮特別警報
＜警戒レベル4までに必ず避難＞						
4相当	レベル4氾濫危険警報	レベル4氾濫危険警報	レベル4大雨危険警報	レベル4大雨危険警報	レベル4土砂災害危険警報	レベル4高潮危険警報
3相当	レベル3氾濫警戒情報	レベル3氾濫警戒情報	レベル3大雨警戒情報	レベル3大雨警戒情報	レベル3土砂災害警戒情報	レベル3高潮警戒情報
2	レベル2氾濫注意情報	レベル2氾濫注意情報	レベル2大雨注意情報	レベル2大雨注意情報	レベル2土砂災害注意情報	レベル2高潮注意情報



周知啓発用のリーフレット（左図：表面、右図：裏面）

令和7年度実施

○水源林造成事業による森林整備

- 除間伐等による森林整備を推進

奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力のみでは適正な整備が見込めない箇所において、森林整備を実施し森林の公益的機能の向上を図る。（造林地面積 約930ヘクタール）

【令和7年度 実績】

除間伐：約18ヘクタール
（東伊豆町、松崎町）

下刈：約6ヘクタール
（東伊豆町）



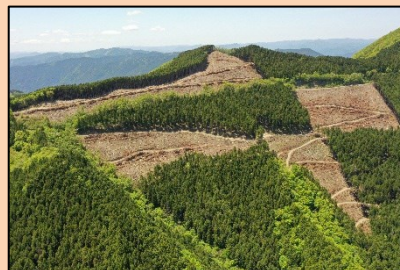
松崎町内の造林地

- 高齢級林分での更新伐の実施

主伐期を迎えた森林において、小面積で分散した区域を伐採・再造林する「更新伐」を実施。環境負荷を抑えつつ森林を更新することで、水源かん養機能の維持・向上を図る。

【令和7年度 実績】

約8ヘクタール（河津町）



更新伐（イメージ）

令和8年度予定

○水源林造成事業による森林整備

- 除間伐等の森林整備の継続

【令和8年度 計画】 除間伐：約10ヘクタール
下刈：約6ヘクタール

- 更新伐実施箇所の再造林

【令和8年度 計画】 約8ヘクタール（河津町）

- 更新伐の推進

令和9年度以降に更新伐を実施予定の造林地にて、路網の整備等を実施（松崎町、河津町）

併せて、事業候補地の選定および所有者との協議を継続し、賀茂地域での継続的な事業実施に向けた計画策定を進める